

## 1. 略歴

1972年3月	千葉県立千葉高校卒業
1977年3月	東京大学文学部第1類（美学芸術学専修課程）卒業
1980年3月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程（美学芸術学）修了
1983年7月	東京大学大学院人文科学研究科博士課程（美学芸術学）単位取得退学
1983年7月	東京大学文学部助手（美学芸術学）
1986年4月	玉川大学文学部専任講師（芸術学科）
1991年4月	玉川大学文学部助教授
1992年4月	大阪大学文学部助教授（音楽学）
1996年4月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授（美学芸術学）
2001年7月	博士（文学）学位取得（東京大学）
2002年1月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

聴覚文化論、音楽社会史

### b 研究課題

1. 音の文化の伝承、受容、流用にかかわるプロセスとメカニズムの歴史研究による解明。これまで、西洋芸術音楽の「近代化」とテクノロジー、西洋芸術音楽における演奏伝統の形成とその伝承メカニズム、日本近代の音楽文化におけるメディアや言説といったテーマを取り上げてきたが、最近では「音楽」だけでなく「音」一般にまで対象を広げ、むしろそういう中から様々なコンテクストと関わりつつ生成、変容するものとして、「音楽」という概念自体を捉え返すことをも射程に入れている。
2. 場所の表象、記憶の生成・変容のメカニズムやそれに関わる多様な文化的コンテクストの相互作用の解明および芸術作品や感性的体験がその過程で果たす役割の考察。作品体験と現実の都市の表象とを媒介する場としての文学散歩、映画のロケ地巡りとといった営みの考察、廃墟趣味や路上観察の見直し等の試みを起点に、主に写真や映像による表象の分析を通して、様々な立場や観点がぶつかり合い、また離合集散しつつ変容してゆく場としての文化のありようを捉えることを目指している。
3. 上記のような問題意識の、いわば「応用問題」として、1960年代の雑誌『朝日ソノラマ』や、同時代のドキュメンタリー・レコード、ドキュメンタリー映像などを題材に、この時期に起こった文化や文化観の大きな変容のありようを明らかにする試みを行っている。

### c 主要業績

#### (1) 著書

『考える耳・再論——音楽は社会を映す』、春秋社、2010.7

『歌う国民——唱歌・校歌・うたごえ』、中公新書、2010.9

『聴衆の誕生——ポスト・モダン時代の音楽文化』、中公文庫、2012.2（初版：春秋社、1989.3）

#### (2) 論文

「『ノイズ』言説・再考——ジントとチンドンをめぐる表象の生成と変容」、『文学』11巻6号、2010.11、pp.70-87

「映像による都市イメージの生成と変容——映画《Love Letter》と小樽のまちづくり」、『日常性の環境美学』（西村清和編、勁草書房）、2012.3、pp.252-280

「日本橋と高速道路——都市景観言説にみる美的判断の生成と変容の力学」、『美学芸術学研究』30、2012.3

#### (3) その他の寄稿

「東ドイツの美しい記憶？——『オスタルギー』のなかのベルリン」、『アステイオン』72、pp.184-187、2010.5

「窒息する文化——作品の公共性と著作権の横暴」、『アステイオン』73、pp.174-177、2010.11

「レコードと『純正な日本語』——バスガイドの語る《別府温泉地獄めぐり》は何をもたらしたのか」、『月刊みんぱく』403、pp.4-5、2011.4

「過剰な原理主義の時代？——『リマスター盤』、『古楽器演奏』、『アメリカ流民主主義』という三題断」、『アステイオン』74、pp.188-191、2011.5

「文化としての『発車メロディ』——『サウンドスケープ』から『聴覚文化』へ」、『アステイオン』75、pp.178-181、  
2011.11

(4) 書評

塚原康子著『明治国家と雅楽——伝統の近代化／国楽の創成』（有志舎、2009）、『東洋音楽研究』76、pp.159-162、  
2011.8

(5) 学会発表

『鉄ちゃん』のサウンドスケープ——音楽の『環境化』再考、美学会東部会例会、東京大学、2012.3

(6) 受賞

第61回芸術選奨文部科学大臣賞（評論等部門）、『歌う国民——唱歌、校歌、うたごえ』（中公新書）、2011.3

### 3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座「唱歌のもうひとつの顔」、2011.7.16

明治学院大学横浜キャンパス公開講座「歴史と現在 第4回 『音楽』」、2011.10.25

(2) 学会

美学会、委員、2010.4～

美学会、機関誌編集委員長、2010.11～

文化資源学会、理事、2010.7～

文化資源学会、機関誌編集委員長、2010.7～

(3) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

サントリー文化財団、サントリー学芸賞選考委員、2010.4～

企業メセナ協議会、助成認定審査委員、2011.4～